

韓国

私立大付属病院施設拡充事業



本事業にて導入された心血管造影撮影機

[借款概要]

承諾額/実行額	5,624百万円 / 3,886百万円
借款契約調印	1988年6月
借款契約条件	金利4.25%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1995年11月

[事業概要]

韓国における私立大学付属病院の新設等に伴い必要とされる医療資機材を調達・導入することにより、医療教育水準の向上を図るもの。

[評価結果]

本事業においては、4カ所の私立大学（梨花女子大学校、漢陽大学校、高麗大学校、東亜大学校）の付属病院を対象として、現時点においても重要性の高い医療機器（心血管造影装置、レントゲン撮影機、超音波診断装置等）が導入された。

これら付属病院は、臨床医学教育の実習施設でもあり、その設備規模は医学生1名あたり10病床を備えることが適切と考えられていたが、現時点で各病院ともそれ以上の規模を維持している。

また、1997年以降の3年間に、これら大学の卒業生は医師国家試験の受験者総数の約10%程度を占め、医師の育成・供給においても相応のシェアを担っている。医療サービスの面では、各病院とも開院年から入院・外来患者数が伸びており、病床稼働率は約90%という高水準にある。

本事業により導入された医療機器は、これまでのところ維持管理についても特段の問題はないとされており、各病院における実習、医療サービス提供の両面で寄与したものと評価される。